

# 大分県長期漁海況予報

〔平成 26(2014)年 1 月～6 月までの海水温・漁模様の見通し〕



大分県農林水産研究指導センター水産研究部

879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦 194-6

Phone0972-32-2155 Fax.0972-32-2156 <http://www.mfs.pref.oita.jp>

## 海況経過<平成 25 年 10～12 月>

### ■黒潮

7 月以降、都井岬～足摺岬沖で黒潮は接岸傾向で推移しました。

### ■水温

豊後水道の水温(0～75m層)は、10月は「やや低め」、11月は「平年並み」、12月は「低め」で推移しました。(図1)。

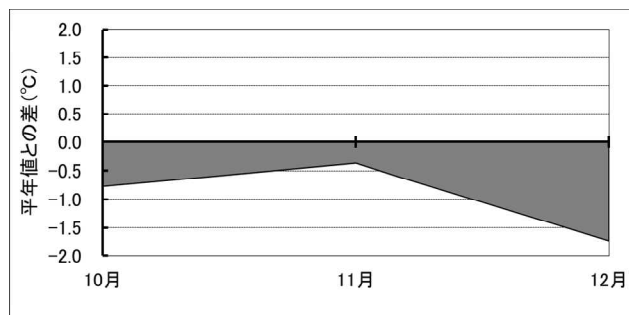


図1 豊後水道における水温の平年値との差(0～75m層の平均値)

### ■塩分

豊後水道の塩分(0～75m層)は、10月は「平年並み」、11月は「やや低め」、12月は「平年並み」で推移しました(図2)。

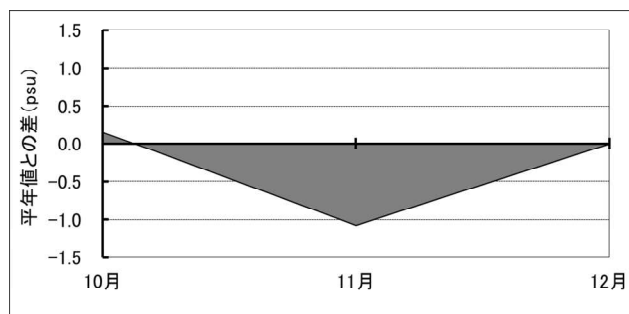


図2 豊後水道における塩分の平年値との差(0～75m層の平均値)

## 今後の海況の見通し〈平成 26 年 1～6 月〉

### ■黒潮

都井岬沖では接岸傾向で推移するでしょう。また、小蛇行の形成により、1月と3月に一時的に離岸するでしょう。足摺岬沖では接岸傾向で推移しますが、2月と4月に小蛇行の東進により一時的に離岸するでしょう。

### ■沿岸水温

「平年並み」～「低め」で推移するでしょう。

### ■予測の説明と根拠

- ・黒潮流路予測は平成 25 年度第 2 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2013)を参考にしました。
- ・沿岸水温は気温の影響を強く受けると考えられます。福岡管区気象台の「九州北部地方3ヶ月予報」では、1～3月の平均気温は「低め40%、平年並み40%、高め20%」と予測しています。そのため1～3月の沿岸水温を「平年並み」～「低め」と予測しました。

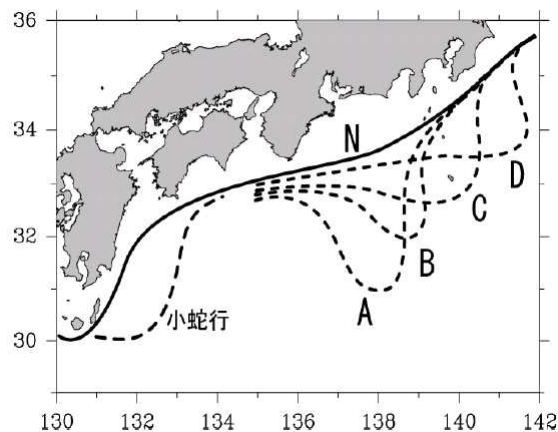


図3 黒潮流型の分類

※上図は平成 25 年度第 2 回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(水産庁プレスリリース資料)より引用

## ■マイワシ

### 2013年9～12月の漁況経過

2013年9～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマイワシの漁獲量は、9月に30トン、10月・11月・12月はほとんど漁獲がありませんでした。前年比3000%(ただし前年は1トン)、(用語解説①) 8%と、前年を上回り、平年を下回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、9月は佐伯湾・豊後水道で被鱗体長(用語解説②)10～15cm前後の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、宮崎県は11トンの漁獲量となっています(2013年9～11月)。

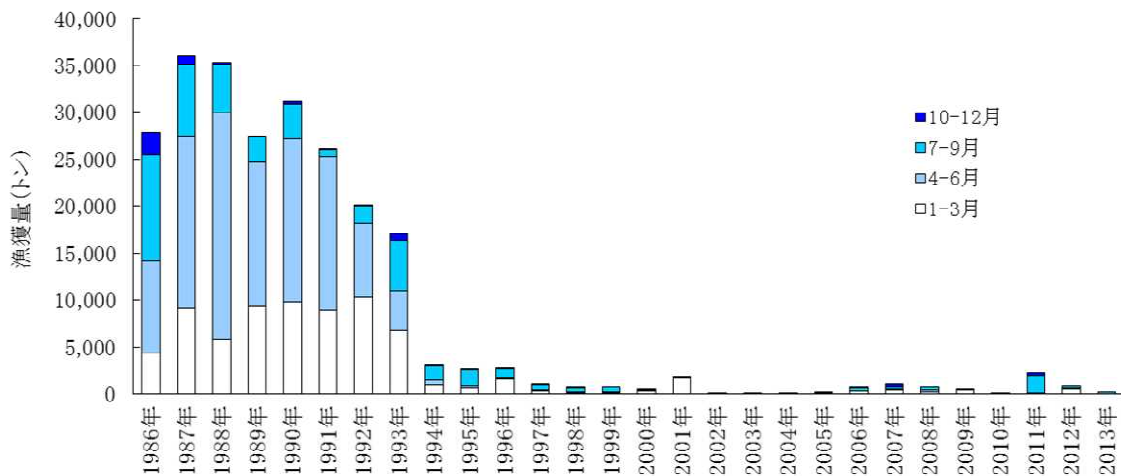


図4 マイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成26年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は低水準ですが前年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～3月は被鱗体長7cm前後の1歳魚(2013年生まれ)が主体となり、4～6月は被鱗体長7～12cm前後の0歳魚(2014年生まれ)主体に1歳魚が混じるでしょう。

### 【説明】

2013年4～9月のマイワシ漁獲量は223トンで被鱗体長7～15cm前後の0歳魚を主体に前年比69.4%、(用語解説①) 3.7%と前年を下回り、平年を大きく下回りました。そのため2014年1～3月の1歳魚(2013年生まれ)の漁獲は期待できません。しかし2013年1～6月の総漁獲量は僅か1トンと、2004年以降最低の漁獲であるため、0歳魚の来遊量次第で上回る可能性は十分に考えられます。ただし北薩～熊野灘における0歳魚の来遊量は前年の来遊量にまで至らないと予測されていることを考慮し、予測は依然として低水準ですが前年を上回るとしました。

## ■カタクチイワシ(成魚)

### □2013年9～12月の漁況経過

2013年9～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるカタクチイワシの漁獲量は、9月に308トン、10月に303トン、11月に88トン、12月に141トンの計840トンでした。前年比183%、平年比176%と、前年・平年を上回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、被鱗体長7cm前後の0歳魚(2013年生まれ)を主体に被鱗体長10～12cm前後の1歳魚(2012年生まれ)が混じりました。なお、宮崎県では前年の204%の漁獲量となっています。(2013年9～11月)。

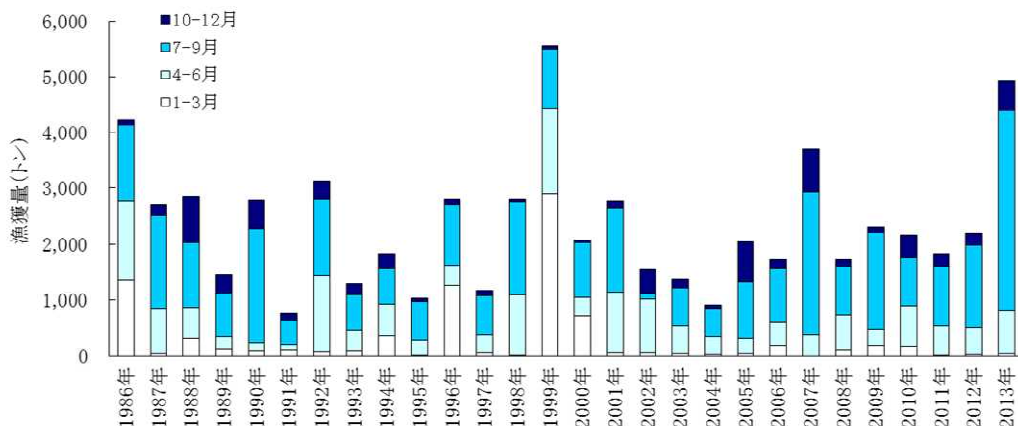


図5 カタクチイワシのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成26年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年・平年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～6月は被鱗体長11cm以下の1歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体となり、4月以降0歳魚(2014年生まれ)が混じるでしょう。

### 【説明】

例年、1～6月は1歳魚が主体で4月以降0歳魚がわずかに混じます。例年9～12月は0歳魚が主体ですが2013年9～12月の漁獲量は840トンで前年比183%、平年比176%であり、前年・平年を上回っています。このことから2014年1～6月以降に主体になるであろう1歳魚(2013年生まれ)の来遊が期待されます。以上のことから、前年・平年を上回ると予測しました。

## ■ウルメイワシ

### □2013年9～12月の漁況経過

2013年9～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるウルメイワシの漁獲量は、9月に929トン、10月に423トン、11月に35トン、12月はほとんど漁獲がなく計1,387トンでした。前年比51%、平年比323%と、前年を下回り平年を大きく上回る漁獲量となりました。漁獲の主体は期間を通じて被鱗体長15cm以下の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の47%の漁獲量となっています。(2013年9～11月)。

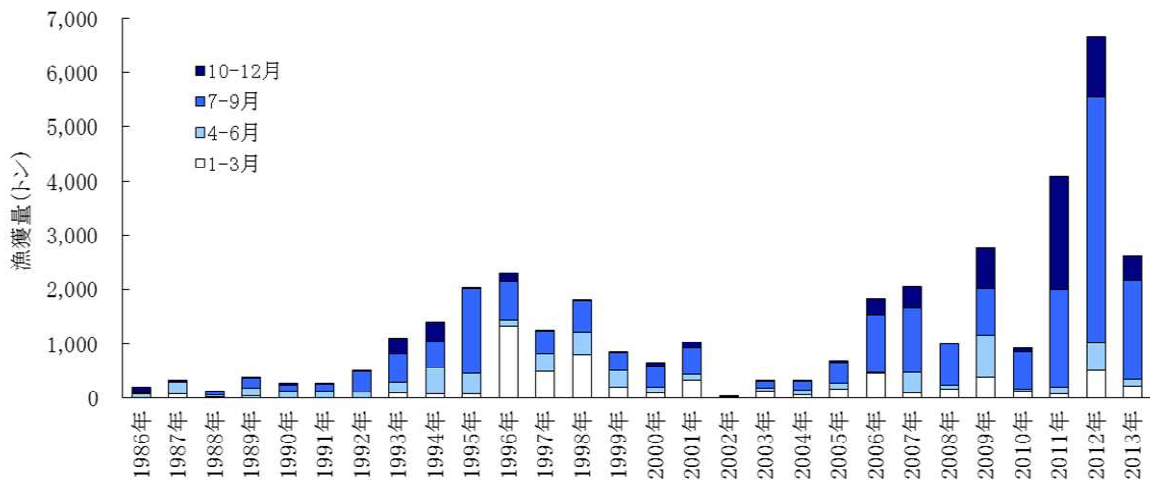


図6 ウルメイワシのまき網における漁獲量 (鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成26年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、好漁であった前年を下回りますが平年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～3月は被鱗体長20cm前後の1歳魚(2013年生まれ)が主体で、4～6月は被鱗体長15cm未満の0歳魚(2014年生まれ)が漁獲対象となるでしょう。

### 【説明】

1～3月に漁獲の主体となる1歳魚(2013年生まれ)の資源水準は、前年0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体だった2013年4～12月のまき網漁獲量が好漁であった前年を下回り(前年比:39%)、平年を上回りました(平年比:201%)。したがって前年を下回りますが、平年を上回ると考えられます。

## ■マアジ

### □2013年9～12月の漁況経過

2013年9～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるマアジの漁獲量は、9月に54トン、10月に51トン、11月に209トン、12月に31トンの計345トンでした。前年比105%、平年比31%と、前年並みで、平年を下回る漁獲量となりました。

漁獲の主体は、期間を通じて尾叉長<sup>(用語解説③)</sup>11～15cm前後の0歳魚(2013年生まれ)でした。

なお、宮崎県では前年の2060%(ただし前年は55トン)の漁獲量となっています(2013年9～11月)。

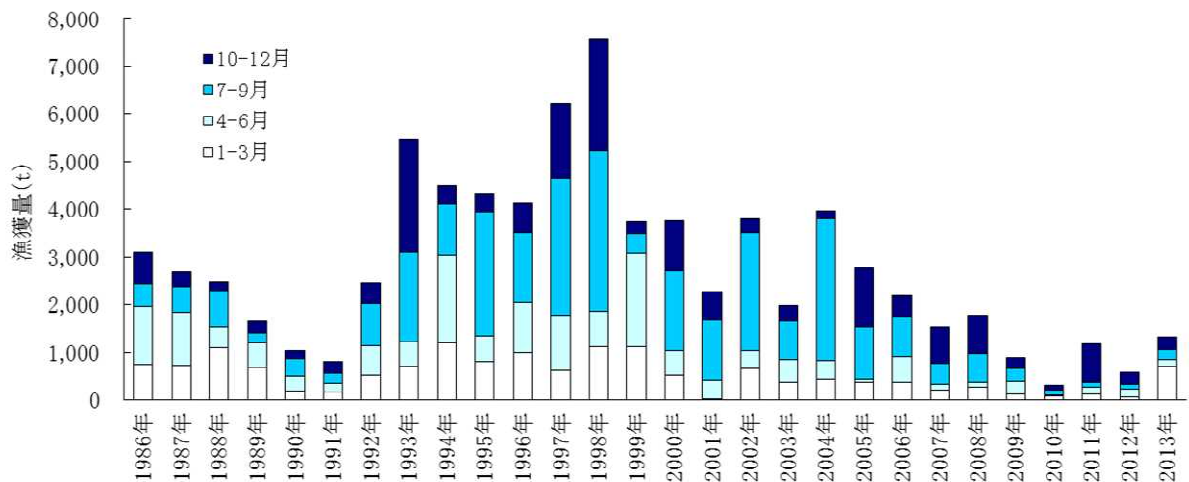


図8 マアジのまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成26年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、低水準ですが前年を上回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～6月は尾叉長15～16cm前後の1歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体となるでしょう。

### 【説明】

1～6月の漁獲主体となる1歳魚(2013年生まれ)の資源水準は、前年0歳魚(2013年生まれ)が漁獲の主体だった2013年8～11月のまき網漁獲量が前年同期と比較すると138トン増加していること(前年比150%)、定置網(標本船日誌1ヶ統)で2013年8～11月に漁獲されたゼンゴおよび小アジ銘柄の漁獲量が前年同期に比べ126%増加したことから来遊水準は前年を上回ると予測されます。

## ■さば類

### □2013年9～12月の漁況経過

2013年9～12月における豊後水道南部主要3港(鶴見、米水津、蒲江)のまき網によるさば類の漁獲量は、9月に22トン、10月に82トン、11月に22トン、12月に26トンの計152トンでした。前年比37%、平年比8%と、前年・平年を下回る漁獲量となりました。

なお、宮崎県では前年の174%の漁獲量となっています(2013年9～11月)。

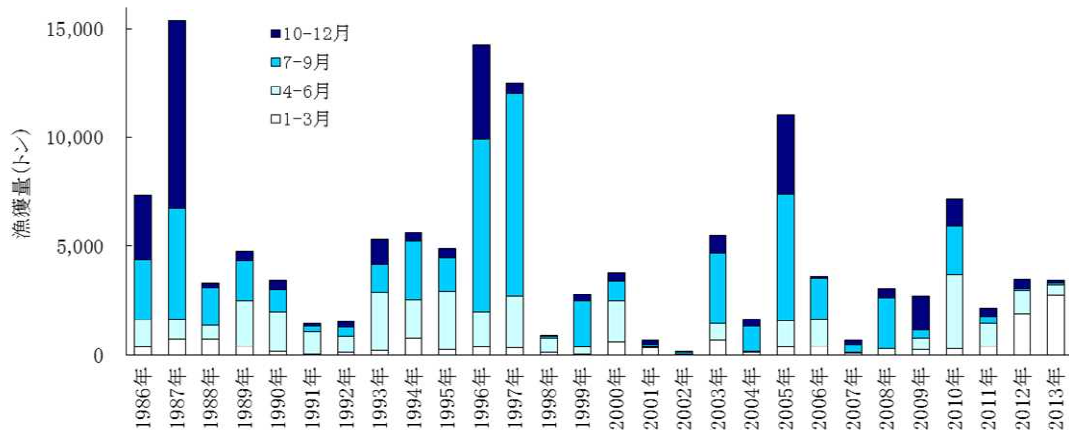


図9 さば類(マサバ・ゴマサバ)のまき網における漁獲量(鶴見・米水津・蒲江支店)

## 今後の見通し<平成26年1～6月>

### 来遊水準:

豊後水道への来遊量は、前年を下回るでしょう。



### 漁獲対象年級群及び体長:

1～3月はゴマサバ2歳魚(2012年生まれ)主体に3歳魚(2011年生まれ)以上の大型のゴマサバが混じり、4月以降は0～1歳魚(2014年～2013年生まれ)が主体となるでしょう。

### 【説明】

例年1～3月は2歳魚主体に3歳魚以上の大型のゴマサバが混じります。2013年2～3月に2,708トンの漁獲があり、モードは35cm前後でした。これは近年で加入量水準の高かった2009年級群(前年4歳魚)と2010年級群(前年3歳魚)の影響が強いと考えられます。しかし高齢のため2009年級群の残存資源量が少なくなっていることを考えると、2014年の1～3月の漁獲への影響は薄いと考えられます。一方、2014年1～3月の漁獲が期待される2011年級群(3歳魚)は推定加入尾数が近年の平均を上回る水準ですが来遊量は前年を下回ると予想されています。以上のことから、2014年1～3月のゴマサバの漁獲量は前年を下回ると予想されます。

例年4～6月はゴマサバ0～1歳魚が漁獲の主体となります。また、例年6～12月は0歳魚が漁獲の主体になりますが、2013年の6～12月における漁獲量は196トンで前年比41%でした。しかし2013年級群(1歳魚)は加入量水準が高く見積もられていることを考慮すると2014年4～6月の漁獲は前年並みか、それを上回ると考えられます。ただしここ2年間の傾向では1

～3月の漁獲量が卓越しており、4～6月の占める漁獲量割合は大きくありません。そのため、1～6月の期間中の漁獲量で考えると、総合して前年を下回ると予想されます。



## その他

### ■予測の根拠および参考資料

・平成25年度第2回太平洋いわし類・マアジ・さば類等長期漁海況予報(中央水産研究所及び関係府県:2013)

### ■用語解説

- ①平年比：1986～2012年までの比
- ②被鱗体長：体の前端から、尾柄の鱗で覆われている部分の後端までの直線距離。
- ③尾叉長：体の前端から、尾びれの湾入部内縁中央(くびれている部分)までの直線距離。

### ■問い合わせ先

この予報に関する問い合わせ先は、大分県農林水産研究指導センター水産研究部 栽培資源チームまで。

〒879-2602 大分県佐伯市上浦大字津井浦194-6  
電話:0972-32-2155  
FAX:0972-32-2156